

燃料電池発電設備 概要表

項目		良	否			
設 備 種 別	☐ 低圧発電 ☐ 高圧発電					
機 器 種 別	☐ 固体高分子型 ☐ リン酸型 ☐ 溶融炭酸塩型 ☐ 固体酸化物型 ☐ その他_____					
工 事 種 別						
設 置 場 所	☐ _____階 ☐ 屋上 ☐ 屋外					
電 圧	☐ 105 ☐ 210 ☐ 415 ☐ 6,600 ☐ その他_____V					
出 力	_____kW					
キュービクル該当	☐ 該当 ☐ 非該当					
非 常 電 源 該 否	☐ 非常電源該当 ☐ 非常電源非該当 容量計算書の添付 (☐ 有 ☐ 無)					
熱 源 区 分	☐ 灯油 ☐ 重油 ☐ その他の液体燃料_____ ☐ 都市ガス ☐ LPガス ☐ その他の気体燃料_____					
設 置 室	構造 壁 (☐ 耐火 ☐ 準耐火 ☐ 不燃) 天井 (☐ 耐火 ☐ 準耐火 ☐ 不燃) 開口部 (☐ 防火戸 ☐ 特定防火設備の防火戸) 換 気 <table border="0" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td rowspan="2" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">{</td><td>☐ 自然換気 (☐ FD付)</td></tr><tr><td>☐ 機械換気 (ダクト ☐ FD付 ☐ 耐火被覆)</td></tr></table> ケーブル等の貫通部 (☐ 大臣認定 ☐ 不燃区画 ☐ その他_____)	{	☐ 自然換気 (☐ FD付)	☐ 機械換気 (ダクト ☐ FD付 ☐ 耐火被覆)		
{	☐ 自然換気 (☐ FD付)					
	☐ 機械換気 (ダクト ☐ FD付 ☐ 耐火被覆)					
電 気 方 式	☐ 発電専用 ☐ 発電+熱供給 ☐ その他発電					
安 全 措 置	対震装置 (☐ 無 ☐ 有) 型式番号_____ 設置位置 (☐ 本体 ☐ 室内) 製造会社_____ ☐ 自動停止 (☐ 改質器温度異常 ☐ 換気装置異常) ☐ 炎検知装置 ☐ 立ち消え安全装置 ☐ 空だき防止装置 ☐ 自動温度調節装置 ☐ 過熱防止装置 ☐ 停電時安全装置 ☐ 自動ガス遮断装置 ☐ その他_____					
燃 料 配 管	材質 (☐ 鋼管 ☐ 銅管 ☐ その他) 配管方法 (☐ 露出 ☐ 埋設 ☐ 隠ぺい)					
燃 料 タ ン ク	容量_____L 材質 (☐ 鋼板 ☐ その他_____) 板厚_____mm 固定方法 (☐ ボルト固定 ☐ 溶接 ☐ その他) 本体からの水平距離_____m					
排 気 筒	貫通部の構造 [遮熱材料 (☐ 無 ☐ 有) ☐ その他_____]					
燃 焼 空 気 取 入 口 等	給気口面積 (_____cm ²) 給気口位置 (床面から_____cm) 給気ファン (給気量_____m ³ /h) 給気ファンの位置 (床面から_____cm)					
耐 震 措 置	耐震クラス ☐ S ☐ A ☐ B アンカーボルト _____φ × _____本					
消 火 設 備						
警 報 設 備						
そ の 他	非常電源の認定番号_____ 製造者名_____					

- 備考 1 ☐ 欄は該当するものに☑し、下線部分には該当する内容を記入すること。
- 2 良否欄は、記入しないこと。
- 3 火災予防条例（昭和56年条例第98号）第11条の区画ごとに作成すること。
- 4 キュービクルは「キュービクル式変電設備等の基準」（平成24年浦安市消防本部告示第5号）に適合したものとすること。